

2007年9月～

人間歯科学研究会報

人間歯科学研究会

〒567-0883 茨木市大手町 7-26

FAX 072-626-6519

E-mail yoshihara@gold.ocn.ne.jp

日本の未来の人口比率はどうなる？

1950年、人口8,000万人の時代は完全なピラミッド型で、乳幼児から成人までががっちり土台をささえていた。1970年、人口1億人を超えると10歳代が減少しはじめ足もとがゆるぎはじめた。

2005年には前年比で初めて自然減を記録したが、1億2,500万人中75歳以上の後期高齢者が増え続けているのに対し、10歳代は1/2に減少した。ピラミッドが天地逆ピラミッド型になったという。

従来新生児は年間200万人と推定されていたのが100万人となり、今や100万人以下の「少子化」となった。むし歯罹患率は10歳までの第1増大期が70%減、20歳までの第2増大期でも40%減ということだから、むし歯の治療しかできない小児歯科医の仕事量は1/3以下になって当然だといわれている。

一昨年12月、医療制度を北欧型の予防医療が主導になる方向に向かっていたが、明けて06年突然アメリカ型の医療制度型をとった。しかし高度医療制度に主眼をおいたわけではないので、予想がはずれた大学病院や大病院は窮地に追い込まれる結果になった。

歯科では、「一連の不祥事という頭語つきで大幅に減点され、医療制度改革関連法により総医療費が抑制された」と解釈したが「見解の相違」というお言葉つきとなり、各地で混乱が生じている。

人口比率と歯科医療比率を考えると、より新しい発想で診療体制を打ち出さなければならないことは事実である。だからといって、「患者を長続きさせる方法」とか「患者ににげられない方法」などという講演会がまかり通っているのは惨めである。

化学は面白い！

化学は難しいといいながら、歯科医療では日常的に多くの化学をしている。中には世間で害があるというニュースが流れても「知ってるつもり」で時々無視していることもある。

オキシウル・ヨードホルム・次亜塩素酸ナトリウム・ホルムアルデヒド・フェノール・パラフォルム・アルゼン・ラウリル硫酸ナトリウム・パラペンなど、歯科治療はもとより毎日使用する歯磨剤でも、化学式や化学反応よりも臨床効果を重視する。

これが習慣性になっていると、中国製の玩具の塗料や衣類に有害物質が混入されていると聞いても、悪いのは中国製品であるという単純な結論を生む。

「毒をもって毒を制す」という言葉がある。歯科医療ではこの言葉は多々応用される。

近代医学、特に分析学の進歩によって、化学製剤の長期間の使用はいずれもD.N.Aを破損する危険があるという。毎日飲用する水でさえが、具体的な一例として電気分解しただけでも種々の化学物質に変化する。

人の身体の75%が水だというのが、時と場合によってどのように化学的な変化をしているのだろうか。高齢になるにつれてその水の量が減少していくのは寂しい。化学的変化量や質によって寿命が決まっているとしたら悲しい。

高野山の「神秘の水」とはどんな水？

身体水分と取り入れる水の相性が合えば、化学反応を考えなくても病気の発生は抑えられるし、治癒効果も高いはずである。湯治場のある温泉に行くときをそろえて「水ほど不思議な治療薬は無い」と答えられる。

化学的な反応が分からないところが安心ということなのだろうか。今や水道水でなくペットボトルに入った水が国内外から多数出回っている。

歯科医療に役立つ水をさがして 30 年の実績を持つ我々が研究会だが、「おいしい水」や「美容と健康」の水あるいは「からだにやさしい」水ではものたりない。歯科用のユニットに組み込める歯科医療水といえる「生命の水」または母なる羊水に近い水が理想である。天然水であるということはいうまでもない。

北海道から九州までの水の研究を 30 年続け、時には電解水や飽和酸素水も精製したが、あきらめかけた時に近畿圏内で高野山の麓にある「ゆの里」の「神秘の水」に出会った。

カルシウム・ナトリウム・マグネシウム塩素イオンがバランスよく大量に含まれていて、止血効果と組織親和性と再生力が強いとなると、増加一途の歯周病患者には力強い助っ人となることは事実である。

小児期の歯肉炎の多発化を見のがさず、適当な歯ブラシと神秘の水によるブラッシングを行うことが未来の歯科医療の基本になると、仕事量は増え高度医療が可能となる。

「神秘の水」はどう使う？

人間歯科学研究会による多くの研究から、従来のブラッシングのイメージを複数化により一変させた。

Dr.Angel シリーズ（平穴植毛歯ブラシ）は、多くの使用効果を秘めている。細長い溝に植えられたハケ状の毛束が水を多く含み、唾液の分泌を促し、歯肉のマッサージ効果を高めて歯垢を除去する。この一連の作用をほとんど力を必要とせず、さわやかさが心地よい感覚はすでに経験済みと思うが、ここに「神秘の水」が加わると歯磨剤を必要とせず、慣れたらブラッシング後に吐き出さずに飲み込めるので、どんな場所でもブラッシングができる。

まず「神秘の水」を口に含み、クチュクチュした後で、たっぷりスプレーした Dr.Angel シリーズブラシで軽く口を閉じた状態で唇・頬側をゆっくり大きく横みがきする。次に開口して咬合面・舌側面をブラッシングする。途中で水を吐き出したら、口の中及び歯ブラシにスプレーしてブラッシングを続ける。

熱い食事で口の中をやけどした時、歯肉肥大で出血している時、親知らずが出にくい時、口内炎や口角炎がある時、口が乾燥しやすい時、そして歯周病と判断された時は水の量を増やし、ブラッシング時間を長くするといかなる薬物や歯磨剤を用いるよりも生き生きした口腔内環境へと変化する。

是非おためしあれ…。